

# 令和2年度の早池峰山保全活動

令和3年1月29日 早池峰地域保全事業推進対策協議会シカ部会資料



国民の森林・国有林

林野庁東北森林管理局  
岩手南部森林管理署遠野支署

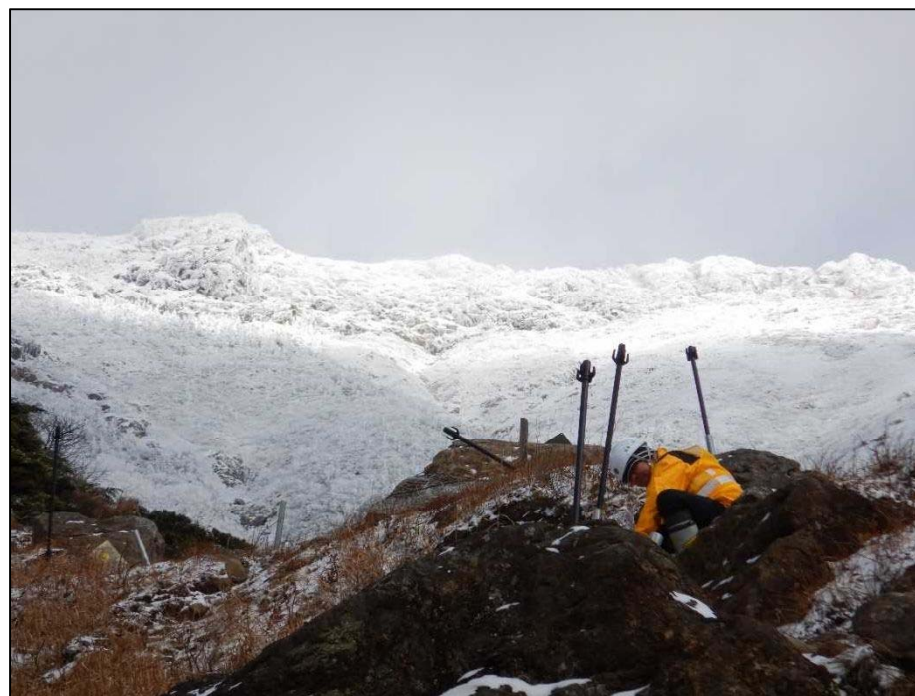
# 報告内容

- 1 巡視活動等（巡視、移入植物駆除活動、樹名板の設置等）
- 2 森林保護員（グリーンサポートスタッフ・GSS）の活動
- 3 令和2年度のニホンジカ対策の中間成果

※本報告は、令和2年度に岩手南部森林管理署遠野支署が実施した早池峰山保全対策について、三陸北部森林管理署の関連する取組も含めて取りまとめたものである。



消雪直後の植生保護柵のネット張り作業(5/26)



雪の中での植生保護柵のネット格納作業(11/11)

# 1 巡視活動等

※保全対策・・・早池峰地域保全対策事業、地域協・・・早池峰国定公園地域協議会事業

## (1) 巡視活動

(単位：人)

区分	登山道合同 パトロール (5/28) 地域協	高山植物盗掘防止 合同パトロール (7/16) 保全対策	登山道(門馬) 合同パトロール (9/30) 地域協	森林保全巡視 (10/31) 遠野支署	計
三陸北部署	3	3	1	—	7
遠野支署	4	2	2	2	10
国有林 計	7	5	3	2	17

## (2) 移入植物駆除活動

(単位：人)

区分	第1回 セイヨウタンポポ、オオバコ (6/18) 保全対策	第2回 オオハンゴウソウ (8/26) 保全対策	計
三陸北部署	3	2	5
遠野支署	3	3	6
国有林 計	6	5	11

## (3) 樹名板の設置 (遠野支署)

(単位：箇所)

区分	小田越登山道 (木道周辺)	薬師岳登山道 (木道周辺)	河原の坊周辺 (トイレ横、旧道入口)
設置数	5	2	2
内 訳	アオモリトドマツ、コメツガ、ダケカンバ、ナナカマド、ミネカエデ	アオモリトドマツ、ダケカンバ	ダケカンバ、ブナ
備 考	6/18設置	6/18設置	10/26設置

## 2 森林保護員(グリーンサポートスタッフ:GSS)の活動

遠野支署では6月8日～9月30日まで4名を配置。土日祝日を中心に延べ55人/15日活動

### (1) 巡視・啓発活動



山の日PR活動



登山者との交流



植生保護柵の点検

### (2) 登山道・標識等の補修



保護林標識の補修



登山標識の防腐処理



倒木処理

# 令和2年度の早池峰山周辺地域におけるニホンジカ対策の中間成果

## (1) 植生保護柵の設置による高山植物保護(遠野支署、三陸北部署、岩手県)

設置主体	延長
岩手南部森林管理署遠野支署	200m (200m)
三陸北部森林管理署	540m (250m)
岩手県環境生活部	750m (400m)
計	1,490m (850m)

**成果1 総延長** 850m → 1,490m **640mの拡張**

(以下は遠野支署の取組)

**成果2 早期の設置** 1ヶ月前倒し、融雪直後に網張り

R1.6月 → R2.5月

**成果3 応援体制の確立** 県と三北署に延べ27人応援

( )内はR1年度までの設置分

## (2) 遠野支署によるシカの捕獲事業(土倉沢上流部及び下恩徳林道で実施)等

設置時期	小型囲いワナ		くくりワナ (いのしか御用)		捕獲計
	設置	捕獲	設置	捕獲	
R1年度翌債事業 (R2.4~6月)	7基	4頭	32基	18頭	22頭

**捕獲頭数倍増** (遠野支署)9頭 → 22頭  
(局直轄) 18頭 → 33頭

ツキノワグマの錯誤捕獲なし

さらに、局直轄捕獲事業により**岳地区で33頭捕獲**(1/20終了)  
(国土保全のためのシカ捕獲事業)

冬季・積雪下においても運用成績は良好

## (3) 捕獲支援 地方自治体等へのワナ(いのしか御用)の貸与(遠野支署・三陸北部署)

4~12月の捕獲頭数 **114頭**

(遠野市90頭、花巻市21頭、※宮古市3頭)※8月から貸与したワナの数137基(遠野市87基、花巻市30基、宮古市20基)

ツキノワグマの錯誤捕獲なし

バネなくくりワナ「いのしか御用」の有効性を実証した。

## (4) 捕獲支援 林道除雪による捕獲支援 令和2年度は遠野市内12路線(遠野支署)を実施中 宮古市内2路線(三陸北部署)



頭垢離付近1,390m地点の植生保護柵（5/26ネット張り）



樹名表示板の設置(6/18)



オオハンゴウソウの駆除作業(8/26)



登山道合同パトロール(5/28)

# 【参考1】 遠野市内におけるシカの捕獲頭数の推移

遠野市内におけるシカ捕獲頭数の推移(単位:頭)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市の有害捕獲 (4~10月)	1,015	705	951	1,264	1,425	1,858
県指定管理鳥獣 捕獲等事業 (11~2月)	1,279	878	879	1,425	930	1,002
一般狩猟 (11~3月)	117	203	210	212	137	205
合計	2,411	1,786	2,040	2,901	2,492	3,065

- ・H26年の環境省による県内のシカの個体数推計は**約4万頭**
- ・H29度の自然増加率推計の中央値は**1.16**(環境省R元.11)
- ・県では**年間1万頭以上の捕獲**が目標(岩手県シカ管理計画)
- ・令和2年度の遠野市による有害捕獲実績**2,366頭(+508頭)**
- ・この数字には、当支署が直接捕獲した頭数は含まれない。

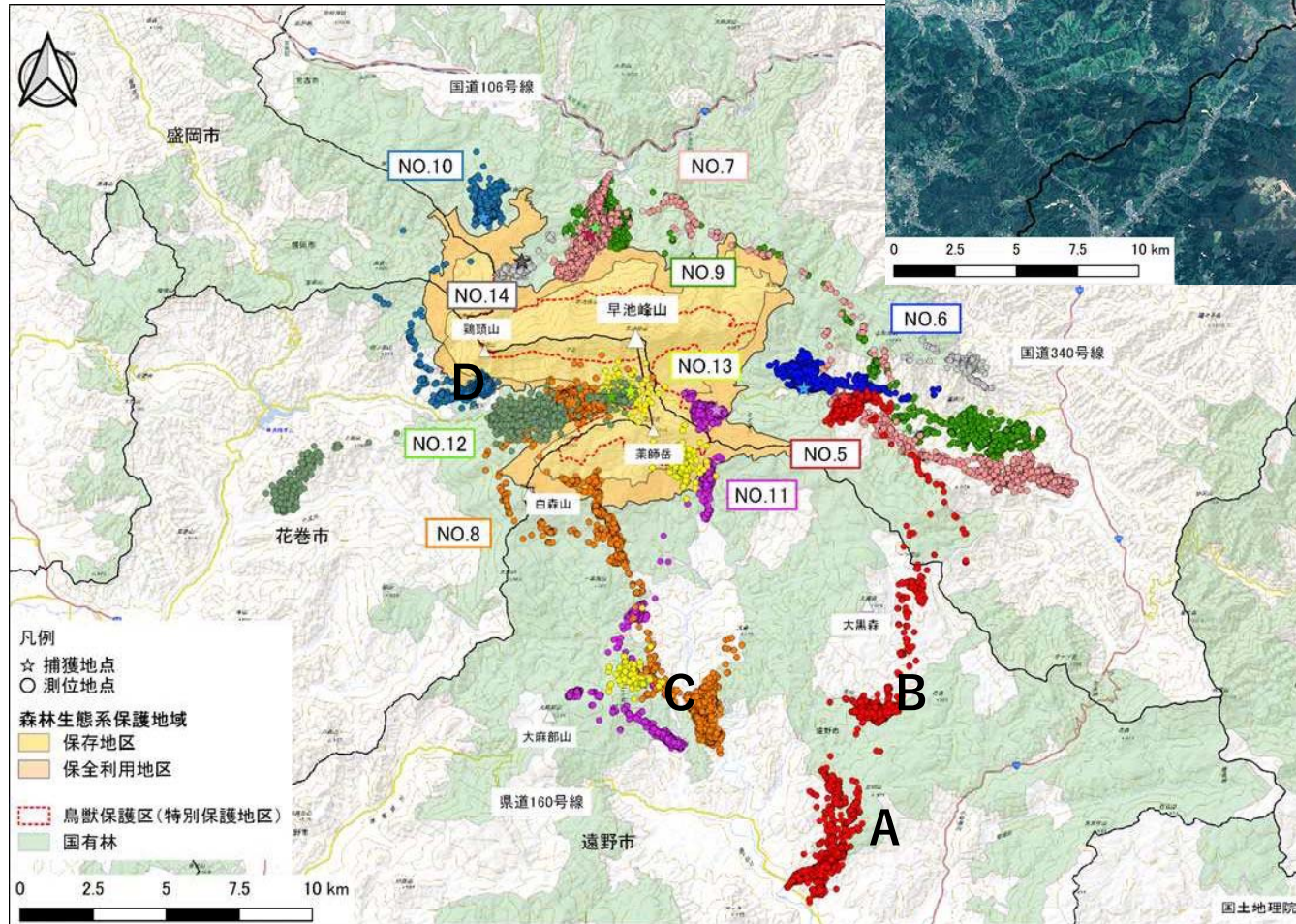
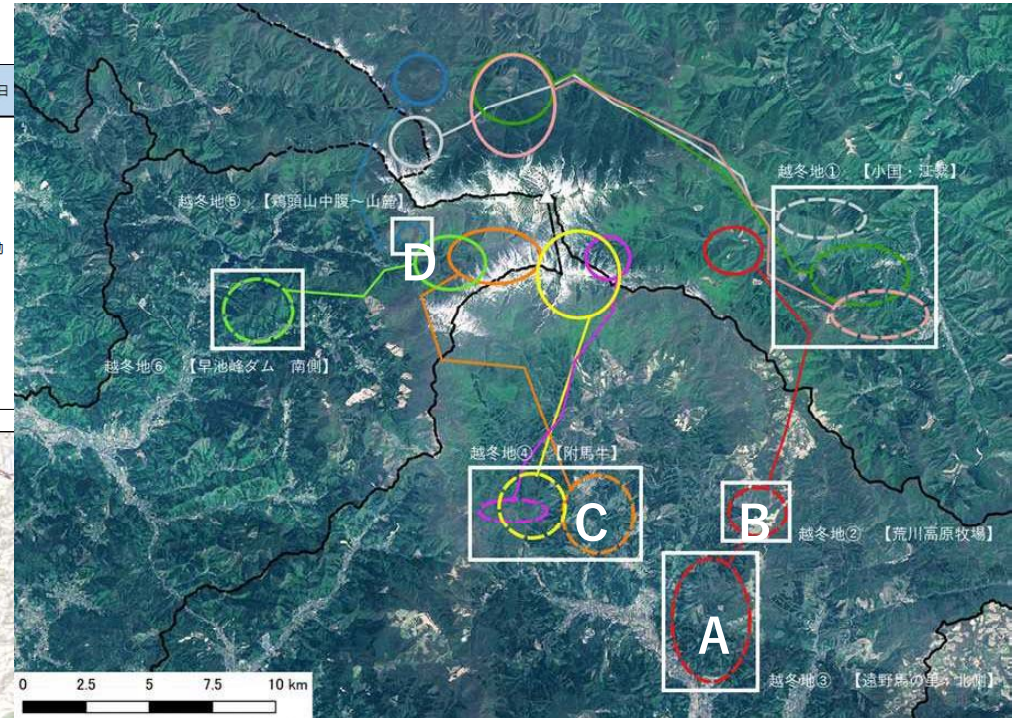
岩手県全域 シカ捕獲頭数の推移(単位:頭)

地域	捕獲区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
県計	有害捕獲	1,341	3,517	5,921	4,806	5,718	7,061	7,399	8,869
	指定管理	2,238	4,556	4,182	4,110	4,632	6,179	4,595	4,794
	狩猟	661	1,546	816	629	649	1,078	544	757
	計	4,240	9,619	10,919	9,545	10,999	14,318	12,538	14,420

※ 平成26年度までは捕獲委託(県単独事業)、平成27年度以降は指定管理鳥獣捕獲等事業(環境省交付金)による捕獲(以下同様)

## 【参考2】 GPS発信機による追跡状況

装着年度	個体NO	首輪の種類	GPS首輪装着日	捕獲場所	標高(m)	性別	推定年齢(装着時)	周辺他個体	追跡調査終了年月日
H27	5	イリジウム	H27.9.17	南側	645	♀	2	集団(他3頭)	H29.7.8 電池切れ
H27	6	イリジウム	H27.10.27	南側	574	♂	5+	単独	H29.5.29 電池切れ
H28	7	イリジウム	H28.6.23	北側	666	♀	3+	集団(幼獣♂1頭)	H31.2.8 電池切れ
H28	8	イリジウム	H28.8.9	南側	964	♀	2	単独	R1.7.12 電池切れ
H28	9	イリジウム	H28.8.11	北側	662	♀	1.5	単独(周音で声あり)	H31.3.30 脱落装置が作動
H30	10	イリジウム	H30.8.2	北側	868	♀	2	集団(成獣♀1頭・幼獣1頭)	R2.8.20 電池切れ
H30	11	イリジウム	H30.9.4	南側	959	♀	3+	単独(周音で声あり)	R2.11.26 電池切れ
R1	12	イリジウム	R1.8.14	南側	1092	♀	3+	単独	追跡調査継続中
R2	13	イリジウム	R2.8.19	南側	1130	♀	3+	集団(成獣♀1頭、成獣♂1頭)	追跡調査継続中
R2	14	イリジウム	R2.9.15	北側	1093	♀	3+	集団(成獣♀2頭、不明1頭)	追跡調査継続中



東北森林管理局  
「令和2年度早池峰山周辺  
地域ニホンジカ生息状況等  
調査の調査」資料より

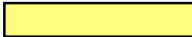
A～C遠野市内の越冬場  
D花巻市岳地区の越冬場



【参考3】

# 遠野市内におけるメッシュ区画ごとのシカ捕獲頭数

(令和元年度狩猟期間(11~3月)における指定管理鳥獣捕獲及び一般狩猟分)

1区画メッシュあたりの平均捕獲頭数	
全メッシュ区画	全頭数/全区画 = 34 (0頭区画は除く)
林道除雪	(3+86+66+83+112) /5=70
凡 例	
	シカ捕獲支援の <b>林道除雪</b> 実施区域

林道除雪はもともと捕獲頭数が多い箇所で行っていることもあるが、全区画に対して**有意な差が認められる**

D-134は積雪が深く冬期間にシカが少ないため成績が悪かったが、消雪が早くなったため4月以降の有害鳥獣駆除に寄与した。

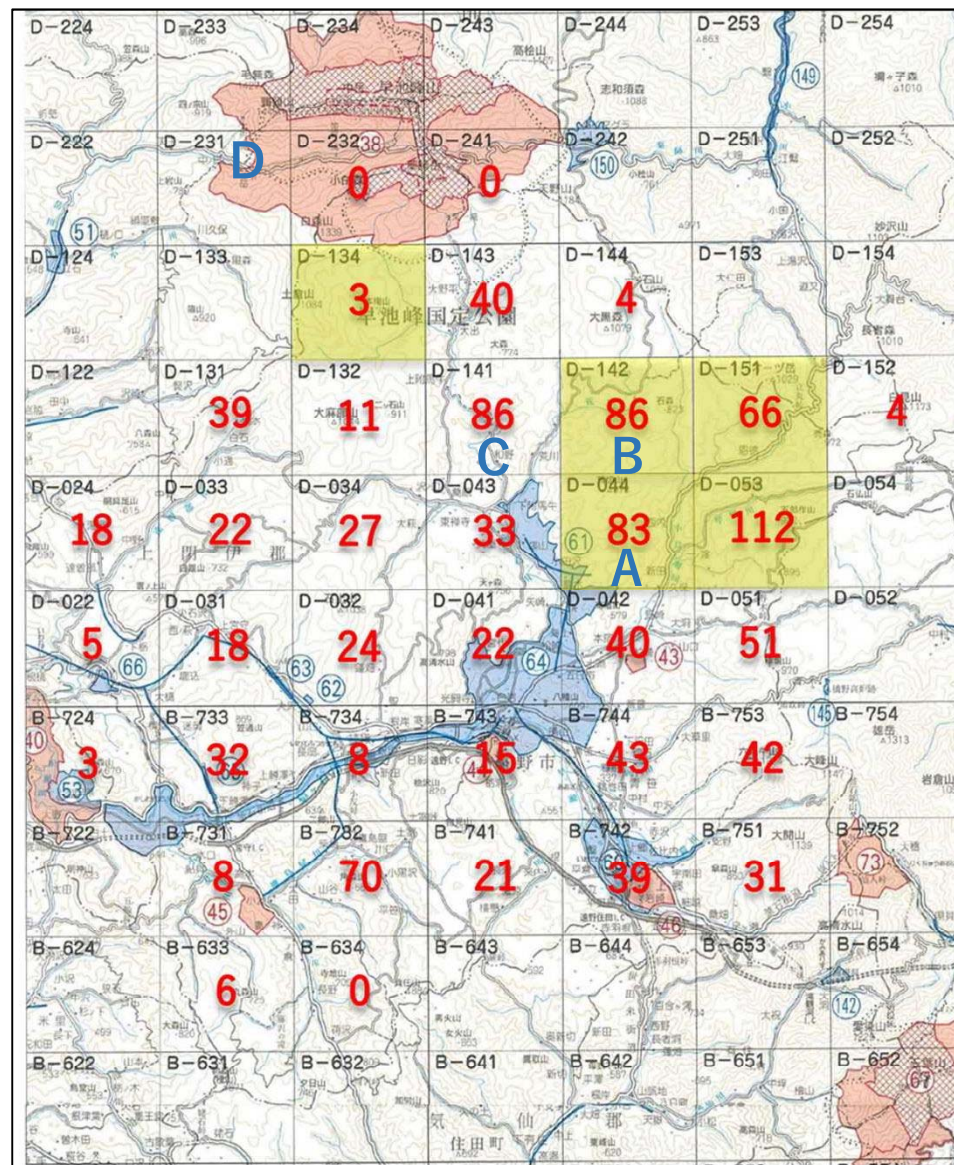
**A~C** 遠野市内の越冬場

**D** 花巻市岳地区の越冬場

(局直轄シカ捕獲事業実施箇所)

★遠野市内の越冬場については、**林道があり冬期間のシカの捕獲数が多い区域**

★岳地区については、**局事業の捕獲実施箇所**



# シカ捕獲対策の課題整理

---

## 【全般】

- 宮古市側、花巻市側についても、メッシュ区画毎の捕獲頭数の整理が重要。
- シカの越冬数だけでなく、林道が整備されているメッシュで捕獲数が多い。
- アクセスが悪いメッシュは、例えシカが越冬していても捕獲数の上積みは難しい。

## 【遠野支署管内】

- 遠野市内の現在判明している越冬場については、例年、相当数を捕獲している。
- 越冬場では生息している絶対数が多いため、夏に早池峰山で活動している個体が捕獲される割合は相対的に小さいと考えられる。
- 花巻市側については、地元の狩猟者が少なくアクセスも悪いため、狩猟者による既存の枠組での捕獲には限界がある。これらを考慮して、局直轄事業により岳周辺で越冬する個体を捕獲し成果を得ているところ。
- 岳周辺での捕獲の継続は重要であり、可能であれば通年での捕獲が望ましい。

## 【今後の検討事項】

- 夏に早池峰山で活動する個体を確実に捕獲するために、春から秋の間での捕獲専門事業者による捕獲事業を検討できないか。冬に、周辺地域の越冬場に拡散した後では、早池峰山で活動する個体に絞って捕獲することはできず、一網打尽も現実的ではない。
- 現在、閉鎖している河原の坊コース内で、いのしか御用を使用するのであれば、一般登山客との接触とツキノワグマの錯誤捕獲を避けた安全な捕獲が可能ではないか。

(文責：遠野支署長 野木宏祐)